

模擬試験活用ガイド ～6月マーク模試編～

今回は6月上旬に実施されるマーク模試に関して、受験前の心構えから結果が返ってきてからの成績表の読み方までご紹介します。模擬試験は「ただ漫然と受けて成績表が返ってきたら判定を見て一喜一憂するだけ」では効果の2割も発揮できません。せっかく1日 or 2日ばかりで受験するのですから、完全な効果が得られるよう準備・後始末を万全にしましょう。

1. 事前準備

- ・6月模試の実施意義 → 「これまでの復習と出題形式への慣れ」

今回の模試の出題範囲は共通テストの範囲に対して、国数英は全範囲、理科社会が6～7割となっており、これまでの復習に適していると言えます。また共通テストは出題形式が特有なので、ある程度の時期から出題形式を見ておくのは本番に向けても重要です。

今回の模試は復習と出題形式を見ておくという両方を意図して作られています。

- ・目標を設定する → 「志望校の幅」と「目標得点」の設定

いわゆる受験学年の模試には「マーク模試」と「記述模試」の2種類があり、どちらの模試でも2種類の目標を設定しますが、それぞれについて設定の仕方が少し異なります。今回はマーク模試なのでそちらについての解説です。

- i) 志望校の幅 → メインの志望校を中心にして、偏差値でいうと3～5くらい上の大学と下の大学を決めておく（国公立・私立ともに）

志望校をかける欄は6校分はあります。自分の今の立ち位置を知るとともに、上下のランクだったらどうなのかもチェックしましょう。私立専願の人は安全校の判定も今のうちにチェックしたいところですので、偏差値が志望校より下の大学を大目に書くイメージが良いです。

- ii) 目標得点 → 共通テスト本番の目標スコアから「-10%」を目標にする

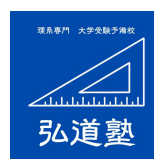
これは現役生は6月から本番にかけて着実に得点が伸びる傾向があり、その幅を踏まえた目安として設定しています。大体今の時期で-10%くらい点数が取れていると9月・11月と2～3%くらいずつ伸びていき、11月から本番で残り5%分伸ばすという平均的なところに収まるイメージになります。もちろん現時点で-10%が取れなければいけないということではないですが、目標としては-10%としておきましょう。

2. 模試当日

- ・テスト受験時のポイント

→ 「自分の解答」と「制限時間でどこまで解けたか」をチェックしておく

今回の模試の目的の1つである「出題形式への慣れ」ですが、1回の試験で慣れることは当然できません。まずは普通に模試を受けてみて「大問・小問」のどこまで解けたかに印をつけておきましょう。もちろん科目によりますが全体の6割くらいに解答が埋められていれば今回は十分と考えてよいです。



理系専門 大学受験予備校 弘道塾
TEL : 050-3199-1755

- ・テスト受験直後のポイント

- 「時間内にできなかった問題を解く」 ことと 「1週間以内の自己採点」

模試の目標のもう一つである「これまでの復習」を達成するために、時間内に解けなかった問題は当日中に解いておきましょう。その際にかかった時間も合わせて記入しておきます。このかかった時間が本番までに埋めなければならない時間になるのです。

もう一つは自己採点です。マーク模試ですからテストの点数は結果が返ってくる前に分かります。自己採点を早期にしておくことで、今後の課題の理解と対応が早くなります。結果を待っているだけですと3週間くらいかかりますので、この差は大きいです。

3. 模試受験後

- ・課題の確認 → 「解けないといけなかった問題」と「目標得点との差」

模試の自己採点が終わるともう1日使い切っているでしょうから、間違えた問題の復習は次の週に回しましょう。1週間間をあけるとなんで間違えたかの印象が薄くなっていますから、そのタイミングでできていなかった問題に再度着手します。共通テストレベルですから「解けなくても良い問題」というものは殆どありませんが、実際に解いた感触で「この問題は解けたはず」と思った問題には「解けなかった理由」を考えて、次回は解けるようにしておきましょう。

もう一つは事前準備で設定した目標ラインとの差をここで考えます。越えていればそれで良しとして構いません。越えていなかった場合は「埋めるためにどの教科であと何点取らなければならなかったか」を考えます。復習の時の手ごたえを、この時に活用しながら考えましょう。

そして最後は「次回模試への目標設定」です。次回は9月にマーク模試がありますからそこに向けての目標設定になります。目標は「本番-7%」です。今回の結果を踏まえて各科目ごとに、どのくらいの点数を目標とするかを決めておきます。

- ・成績表の見方

- 「自己採点との差」と「分野ごとの得点率の差」と「第一志望の判定」

まずは自分の自己採点と点数に差があるかチェックしましょう。共通テスト本番も自己採点で出願校を決定します。差が大きいと正しい状況判断ができず、出願校決定に悪影響をもたらします。20点以上差がある人はマークの仕方（多分消し方）に注意しましょう。

模試の成績表には科目ごとに大問別（＝分野別）の得点と、受験者全体・志望校受験者全体の平均点などが載っています。（自分の得点）<（全体の得点）となっているところは基本的に苦手分野です。夏休みに向けた学習の参考にしましょう。

最後に第一志望の判定を見ますが、これは参考程度です。良いほうが良いのは間違いありませんが、6月の模試は高卒生のほうが圧倒的に良い判定が出ます。高卒生は良い判定に気をよくすることは危険ですし、現役生は判定が良くないことに気落ちするのは時間の無駄ですので、本当に参考程度としておきましょう。

ということで6月の模試活用に関する内容をお伝えしました。今回の模試は多くの受験生が最初に受験する時期の模試になります。良い成績を取りたい気持ちはもちろん大事ですが、受験までの長い道のりの1歩めですので、今後の受験勉強が良いも内容につながるような活用方法を考えることが大切です。次ページには得点率の票を入れておきますので、事前準備・後始末に役立ててください。

模試活用シート

志望校設定

第一志望 (上が国公立、下が私立)		第一志望に対して偏差値が3～5	
		上の大学	下の大学
	→		
	→		

※私立志望の人は下段に第二志望を入れて活用しましょう

得点率設定

受験科目	目標 (本番-10%)	自己採点	点数差	取れた得点	次回目標 (本番-7%)
英語 R					
英語 L					
現代文					
古文					
漢文					
数学 IA					
数学 IIBC					
社会 ()					
社会 ()					
理科 ()					
理科 ()					
情報					

※点数差は±で書き込みましょう

次回目標に向けてやるべきことを記入しよう

教科	内容	教科	内容
英語		理科	
国語		社会	
数学		情報	

こんな悩みを抱えていませんか？

- ✓ 勉強はやっているけど成績が伸びない・・・
- ✓ 自分に合った勉強法が知りたい・・・
- ✓ 勉強の計画だけでなく実行までサポートして欲しい・・・



その悩み、大学受験のプロである弘道塾にお任せください!!

【弘道塾の3つの特長】

1. プロによるマンツーマン直接指導

元大手予備校校長の塾長が、数学・物理・化学を個別に直接指導。

当塾は実力不問、一人ひとりの状況に合わせたスタートで、効率よく実力を伸ばします。

2. 将来を見据えた進路指導

単なる偏差値評価ではなく、生徒が将来やりたいことを見据え、医学・理・工・農・薬学部など、様々な「いきたい大学」への合格を全力でサポートします。

3. 集中できる安心・快適な環境

明るく開放的な自習専用のスペースいつでも気軽に質問・相談が可能です。駅から徒歩8分の好立地で、安全面も心配ありません。



【さらに充実のサポート】

- ✓ 教室見学は随時受付けております。
(保護者様もご同伴いただけます)
- ✓ 合格体験記を Instagram にて公開中
→ @oyama.kodojuku
- ✓ 進路相談に特に強み
(医学部・薬学部志望の方も多数相談)

【住所・連絡先】

住所 栃木県小山市駅東通り 1-7-22 海老沼ビル 2F

電話 050-3199-1755

メール kodojuku.master@gmail.com

アクセス JR 小山駅東口から徒歩8分